

みんなと考える
10年後の嘉麻

嘉麻未来計画

私たちが暮らす嘉麻市は今後どのような未来をたどっていくのでしょうか。未来を描く上で重要な役割を果たす嘉麻市総合計画と、今後の各庁舎のあり方。今月の広報嘉麻は、市民の皆さんにぜひ嘉麻市のまちづくりに興味を持ってもらおうと、市が企画した「市民参加ワークショップ」を特集します。

テーマ

1

こうなったらいいな、10年後の嘉麻市!



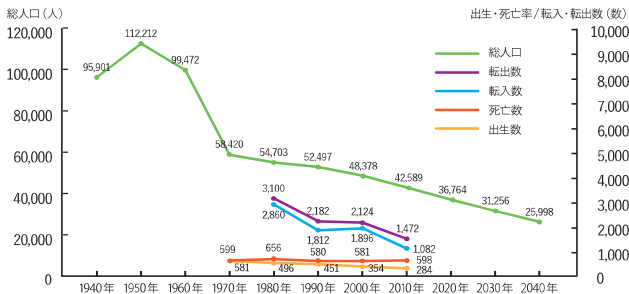
■できれば嘉麻市に住みつづけたいと思ってる人が大半だということ。
しかし悲観すべき数字ばかりではありません。昨年度嘉麻市を対象に実施された意識調査では、嘉麻市に住み続けたいか、それとも市外に転出したいかという質問に対して、約70%の人がずっと住みたい、なるべく住んでいた

■2040年には人口が2万6千人となる予想
10年後も含めた嘉麻の未来を考える際に重要となる指標が人口の増減です。これまでの嘉麻市の人口推移を見ても、炭鉱が栄えた1950年代をピークに人口が減少し続けていることが分かります。やはり、皆さんご存じのように嘉麻に暮らす多くの人の働く先となっていた炭鉱が閉山になった事が人口減少の一番の原因です。人口が減少し続ける、嘉麻市の財政に影響がでるなど、様々な課題が見つかってきます。「人口減少についてどう対応していくのか」、それが今段階の嘉麻市の重要課題として挙げられるのです。

嘉麻市の重要課題はズバリ「人口減少についてどう対応していくのか」

嘉麻市の人口と移り変わりと今後の予想

嘉麻市の出生・死亡数/転入・転出数の推移



嘉麻市にずっと住んでいたい理由TOP3

1. 郷土・ふるさとであるから
2. 近くに親族がいるから
3. 自然環境がよいから

市外に移りたい理由TOP3

1. 交通の便が悪いから
2. 食料や日用品の買い物に不便だから
3. 余暇を楽しむ環境(文化・スポーツ・レジャーなどが整っていないから)

資料：平成27年度実施「まち・ひと・しごと創生に関する市民意向調査」

嘉麻市から転出していく人の転出先TOP3

1. 飯塚市 (509人)
 2. 福岡市 (142人)
 3. 桂川町 (81人)
- ※福岡県外 (260人)

資料：平成24～25年 転出先市町村別の転出数(総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」を特別集計したもので)

いと答えました。また転出したい人のなかで「ぜひ移りたい」と考える人は全体の約3%にとどまっています。この結果から、本日は嘉麻市には住み続けたい、しかしそこには交通手段の主である車を運転できない人にとつての交

通の便であったり、日常の買い物に不便を感じているから、何かのきっかけで市外へ転出しているというのが分かっています。転出先でお隣の飯塚市や桂川町が多いのも交通の便などを考慮した結果だと

や「豊かな暮らし」の尺度は人によって様々ですが、こうした意識調査の結果を見ると、気持ちの面としては嘉麻市に住み続けたいと、市民の皆さんが思ってくれていることが何よりの財産ではないでしょうか。

本誌9ページにワークショップの日時・場所をご案内しています。本特集をご覧ください、テーマ①②の内容についてご意見をお聞かせください。

嘉麻市の未来を考える『市民参加ワークショップ』を開催いたします。市民の皆さんのご意見を直接聞かせてください。

嘉麻市の10年間の計画する「第二次嘉麻市総合計画」が今年度策定されます。またそこに大きく繋がる2020年(平成32年)の嘉麻市役所新庁舎完成に向けた各支所の今後のあり方や活用方法。それらをぜひ市民の皆さんと共につくり上げるために、今回市民の皆さんが参加するワークショップを企画しました。

ワークショップでのお題は2つ。

①『こうなったらいいな、10年後の嘉麻市!』

今年10年間の未来を計画する第二次嘉麻市総合計画策定の年。これからこのまちをどうしていきたいか、皆さんの自由なアイデアをお待ちしています。

②『支所のあり方や庁舎資産をどのように活用しますか?』

嘉麻市新庁舎の建設に合わせ、現在ある庁舎の跡地や周辺エリアを整備する予定です。その際、どのように活用すればいいか、ご意見を聞かせてください。

本誌9ページにワークショップの日時・場所をご案内しています。本特集をご覧ください、テーマ①②の内容についてご意見をお聞かせください。

e-mailまたは郵送でもご意見を承ります。

メール info@kama-pr.net

郵便 〒820-0071 飯塚市忠隈71-4-3F TONE GRAPHICS 広報嘉麻 編集部 宛

本特集を参考に
お考えください。

市民の皆さんのご意見を 直接聞かせてください。

～嘉麻未来計画市民参加ワークショップ～

私たちが暮らす嘉麻のこれからの未来を市民と行政と一緒に考えてみる、またない機会です。ぜひこの機会に足を運んでみてください！

ワークショップでのお題は2つ。

①『こうなったらいいな、10年後の嘉麻市！』

②『支所のあり方や庁舎資産をどのように活用しますか？』

…①②をお考えの上、下記の日程で各会場へご参加ください。

日程
会場

開催日時	地区	場所	備考
平成28年10月25日(火)19時～終了	碓井	うすい人権啓発センターあかつき	集会室
平成28年11月1日(火)19時～	稲築	稲築地区公民館	講堂
平成28年11月8日(火)19時～	山田	山田市民センター	講堂
平成28年11月18日(金)19時～	嘉穂	夢サイトかほ	文化ホール
平成28年11月20日(日)10時～	山田	山田市民センター	講堂
平成28年12月4日(日)10時～	嘉穂	夢サイトかほ	文化ホール
平成28年12月11日(日)10時～	碓井	うすい人権啓発センターあかつき	集会室
平成28年12月18日(日)10時～	稲築	稲築地区公民館	講堂

どこの開催場所も内容は同じです。参加者のご都合の良い日程に参加してください。

- ルール／ワークショップは必ず肯定的であり、積極的で前向きな提案を行い、人の意見に対して絶対に批判をしないことでスムーズに進行します。自分の提案や他人の提案も理解する場です。前向きな発言を行い、人の提案を批判しないようにしましょう。
- 参加資格／中学生以上の方ならどなたでも参加できます。ただし、中学生・高校生が夜に開催されるワークショップへ参加する場合は、保護者の方の同席をお願いします。
- 参加方法／事前申込みは不要です。各会場に直接お越しください。
- その他／託児の希望がある方は、開催日程の1週間前までに下記までご連絡ください。



今後について

ワークショップで皆さんからいただいた意見をもとに市で話し合ったことを、2017年(平成29年)の3月～5月頃に説明会として開催します。

- 問い合わせ／庁舎・交通体系対策室 地域整備係 電話62-5677

テーマ

2

支所のあり方や庁舎資産を どのように活用しますか？

嘉麻市が誕生してから10年。市役所は旧碓井町役場を市役所本庁とし、その他の3ヶ所の旧庁舎を分庁舎または総合支所として市民の皆さんの暮らしを支えてきました。しかし建物の老朽化は進み、なかでも稲築庁舎は耐用年数を大幅に超えて使用されている状態です。今回新たな市役所を建設するのを機に、現段階では各庁舎を取り壊すなどし、新たな支所を設置する予定です。皆さんの暮らしに支所としてどうあるべきか、また取り壊した現庁舎跡地などの活用の仕方を、今回開催するワークショップの2つ目のテーマとしました。



今ある庁舎の今後・跡地の利活用については、現在こう考えています。



山田庁舎

現庁舎は2020年(平成32年度)までに取り壊し、跡地の一部は生涯学習館周辺に設置。庁舎跡地は民間へ譲渡、もしくは分譲地として定住化を図っていきます。



嘉穂庁舎

現庁舎は2020年(平成32年度)までに取り壊し、跡地の一部に支所を設置。残りの跡地は旧大隈小学校敷地と共に民間への譲渡、もしくは分譲地として定住化を図っていきます。



碓井庁舎

現庁舎は2026年(平成38年度)まで支所・教育委員会・公民館などとして使用。庁舎前の駐車場は民間へ譲渡、もしくは芝生化・遊具の設置を計画しています。



稲築庁舎

新庁舎が2020年(平成32年度)、稲築スポーツプラザ跡地に完成。現庁舎はそれまでに取り壊す予定。跡地の活用は新庁舎の計画とともに考えていきます。

所要時間は
およそ
2時間

嘉麻未来計画「市民参加ワークショップ」の流れ



意見を出しやすいように、少人数のグループに分かれて、メモに意見を記入していきます。



出た意見はグループごとに貼り出して、参加者全員で意見を共有していきます。

今回は皆さんに提案やアイデアを出しやすい環境にしようということで、参加者のみなさんを少人数にグループ分けし、付箋に提案やアイデアを書いて貼っていくワークショップ形式を取りました。約2時間のワークショップのなかで、目からウロコの発見や驚きもあるかもしれませんよ！

30分前

▶受付開始

開会

- ▶開会の挨拶
- ▶ワークショップの趣旨・目的説明・テーマ説明
- ▶進め方とルール説明

15分後

- ▶グループワーク開始(1回目のお題30分・2回目のお題30分、合計60分)

80分後

- ▶シェアリング(参加者のみなさんのアイデアや意見の共有)

閉会

- ▶閉会の挨拶
- ▶閉会(次回説明、アンケート記入、回収)